

No. 189

令和3年7月発行



北塩原村 KITASHIOBARA

〒966-0485 北塩原村大字北山字姥ヶ作3151 ☎(0241)23-3263
HPアドレス <https://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>

発行／北塩原村議会 編集／議会広報調査特別委員会

目次

みんなの声	2
県町村議会議長会について・	
第5回臨時会について	3
第6回定例会について	5
第7回臨時会について	6
村政を質す（一般質問）.....	8～15
その他	16

議会だより

6月議会



さくら幼稚園

**幼稚園園児の田植え体験
大きく育てたくさん穂をつけてね！**



裏磐梯幼稚園

第3回 みんなの声

本年よりは始まりました「みんなの声」。村民の皆様よりお寄せいただいた声を掲載しています。投稿ご希望の方は、下記の「みんなの声」募集要項をご参照ください。皆様のご投稿を心よりお待ちしております。

『自然の詩』

遠藤 良雄さん(蛇平)



花咲いて鳥が鳴き、風流れて月青し。自然とは思議な美の世界なり。裏磐梯の自然は名実共に輝いている。

思えば七十五年前、芒をかき分けて進駐軍のジープが来ました。

磐鏡園（毘沙門沼）まで進み、沼の色、磐梯山の雄姿を眺め「ワンダフル」と叫びました。地元の人には景色を眺める余裕などない時代に外国の人達が自然の美を再発見したので。それから桧原湖に進みこれ又大変感動され、湖が一望出来る丘の上にサマーハウスを建て週末に利用していました。これが裏磐梯のバンガロー普及の始まりです。

桧原湖入口「長峰舟付場」にア

チを設置し交通規制をし、NATIONAL PARKと大きな看板を表示されました。

その後まもなく国立公園の指定がなされました。

世の中変ると同時に裏磐梯も急速に発展して参りました。

それが今世に誇れる北塩原村の大切な自然財産なのです。

その昔、磐梯山の噴火後は、「磐梯原」などと呼ばれていたこの地に遠藤現夢氏が植林成功の後

五色沼一帯を眺めたとき、ここは「裏磐梯」だと呼んだそうです。

現在その名が生きています。

※この自然を謳うなら

高き想いの道歩み

荒ぶる吹雪に塞がれし

雄々しく聳ゆる冬の峰

山高くして玲瓏と

清白の粉雪霏々と舞ふ

自然の恵み胸深く打つ

美しき花移ろいて

散るなら踊れ逆れ

高鳴る血潮我を裂く

花の香りよ濃き時に

幾難道を辿るなり

久遠の靄を追いかけて

北塩原村議会広報議会だより 〈「みんなの声」応募要項〉

- テーマ：自由（村への要望などは除きます。）
- 字数制限：500字以内
- 掲載：年4回発行議会だよりへ掲載します。各号1名の予定です。
- 選考：議会広報調査特別委員会にて選考・決定します。
- 応募方法：投稿文に住所・氏名・電話番号を明記し、本人の写真を添付の上、下記の宛先に郵送または、メールアドレスに送付願います。
（本人写真の準備が困難な場合は撮影に伺います。）
- 宛先：〒966-0485
北塩原村大字北山字姥ヶ作3151 北塩原村議会事務局
- E-mail：gikai01@vill.kitashiobara.fukushima.jp
（役場本庁、裏磐梯合同庁舎、桧原出張所の窓口にご持参いただいても結構です。）

福島県町村議会議長会

定期総会

小椋 眞 議長

福島県町村議会議長会会長に就任



6月3日、福島県町村議会議長会定期総会が福島市で開催され、

会津耶麻町村議会議長会会長の小椋眞議長が福島県町村議会議長会会長へ選任されました。今後は県の代表として、全国各地での公務が予定されています。任期は2年となります。

福島県
町村議会議長会
特別功労者表彰

福島県町村議会議長会定期総会では、小椋眞議長が村議会議長として10年の長きに渡り地方自治の発展と議会制度の高揚に努めもって住民福祉の向上にくされたとして、特別功労者表彰を受けました。



第5回臨時会

令和3年4月30日、第5回臨時会が開かれた。

主な質疑

会議の初めに、五十嵐正典議員の副議長辞職願が受理されたことを受け、副議長選挙が行われた結果、若林幸子議員が副議長に選任された。

概要

議会では、専決処分を含む4件の議案が審議され、可決された。

若林幸子副議長 抱負

議長をはじめ議員の皆さま、本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。初心に戻って一生懸命頑張りますので、これからもよろしくご協力、ご指導のほどお願い申し上げます。



遠藤村長は、裏磐梯サイトステーションの指定管理委託での事務所使用問題で、議会との約束が十分に果たせなかったとして、村長報酬の30%を1ヶ月減給の議案を提出し可決された。

【問】伊関 明子 議員

行政と議会で決議された内容を実施していなかったことだが、今回のようなことが二度と起こらないように50%1ヶ月なり、もしくは30%3ヶ月なりというふうにするべきではないか。考えを伺う。

【答】村 長

施設からすぐに退去は難しいという話があり、やむを得ないと判断したことについては、深くお詫びを申し上げます。その重大なる責任として議案を提出させていただいたものであります。

全会一致で可決

議案第42号

令和3年度北塩原村

一般会計補正予算

(第1号)

補正額

1億1659万1千円

きずな
絆応援事業について

【問】佐藤 善博 議員

絆応援事業関係550

0万円ということだが、

この他にこういう補助金関係はないのか。今後、事業化する計画はあるのか。

【答】村 長

これまで国で決定している補助金のうち、令和3年度に使える金額が6375万8千円で、今回ここから5500万円を使用します。残り875万8千円は今後の対策に活用していきたいと考えています。

【問】伊藤 敏英 議員

補助金の使い道として

現金ではなく商品券などにして、村内で使うようにすれば、全部地域の経済に回ると思われるが、商品券という選択肢は無かったのか。

【答】総務企画課長

使える場所が限定されるという意見もあり、今回は現金の給付という形で生活支援プラス経済対策両面を併せたいというふうに計画しました。

地域おこし協力隊
について

【問】佐藤 善博 議員

地域おこし協力隊を2名増員するとの事であるが、ジオパークや移住定住など、本来、村の職員がすべき事業をやらせてはいないか。

【答】総務企画課長

ジオパークについては、今年度再認定の審査があり、その力になっていただくと採用しました。また、移住定住については、今年度、空き家の対策協議会や計画の策定という業務についてお願いしたいと考え採用しました。

【問】佐藤 善博 議員

移住定住について、その方はどのぐらいの割合でここに従事するのか。また、してない部分は何かをするのか。

【答】総務企画課長

空き家調査を再開し、空き家バンクの登録、それから紹介関係、そして、移住サイトの運営をお願いする予定です。また、協議会・計画づくりに従事していただくことで1年間の業務は組めると思っております。

多目的グラウンドのフェンス・駐車場設置について

【問】酒井 利美 議員

フェンスの設置は鳥獣対策だと思われるが、その仕様を伺う。

【答】商工観光課長

高さが2メートルで、横のSPANは1メートルで支柱のところにもコンクリートで強めにします。ただ、イノシシは下をくぐろうとするところがあるとありますので、今後管理を含めて対策を考えて行きたいと思っています。

全会一致で可決

第5回臨時会 会議に付した議案と審議結果

議案番号	件 名	審議結果
議案第39号	専決処分の承認を求めることについて (北塩原村税条例等の一部を改正する条例)	原案承認
議案第40号	専決処分の承認を求めることについて (自動車事故による損害賠償の額の決定及び和解について)	〃
議案第41号	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第42号	令和3年度北塩原村一般会計補正予算(第1号)	〃

第6回 定例会

あらまし

令和3年第6回定例会が6月11日から16日まで6日間の会期で行われた。1日目は村長から村政の報告と議案の提案理由の説明、そして各議案の説明が行われ、3件の議案について質疑・討論・採決が行われた。4日目から5日目まで、合計7名の議員の一般質問が行われ、5日目の午後は、各常任委員会に分かれ集中的に議案審議を行った。最終日の6日目は残りの議案の質疑・討論・採決が行われ、議決は追加議案を含め原案承認1件、原案可決7件となった。

主な質疑

議案第44号
北塩原村公有民営方式
路線バス車両購入契約
について

【問】遠藤 祐一 議員

前回、路線バスを購入したときに、議員よりラッピング状況を含めて村のPRする部分の要件が出されたと思うが、要件がちゃんと入っているのか同う。

【問】佐藤 善博 議員

白の電光掲示板は太陽の関係で見づらいという村民の声がある。オレンジや別な色も対応できるのか同う。

【答】総務企画課長

契約の中で、より見やすいものがあるのかどうか、契約相手と協議してまいりたいというふうに思います。

契約業者

いすゞ自動車東北
株式会社
福島支社会津支店
支店長 菅野 勝

契約金額

2744万5千円

全会一致で可決



議案第45号
除雪ドーザ購入契約に
ついて

【問】佐藤 善博 議員

納入期限、令和4年3月18日は除雪期間が終わってしまっていると思うが、今年では使えないということか。なぜこんなに遅れるのか。入札時にこれはクリアできなかったのか同う。

【答】建設課長

新型コロナウイルスの関係で納入期限までに10ヶ月ぐらゐ要する状況があり、確実に納品できる日にちを設定したところです。

契約業者

コマツ福島株式会社
会津支店
支店長 宮野 義和

契約金額

1969万円

全会一致で可決



請願・陳情

請願第1号

「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書

請願者

福島県教職員組合
中央執行委員長

國分 俊樹

他1名

紹介議員

小椋 元

※議長を除く

賛成 8

反対 1

(小椋元議員)

決定

趣旨採択

陳情第2号

コロナ禍を克服し、国民のいのちと健康を守るための陳情書

請願者

福島県医療労働組合
連合会 執行委員長

高橋 勝行

決定

趣旨採択

第6回定例会 会議に付した議案と審議結果

議案番号	件名	議決年月日	審議結果
議案第43号	専決処分の承認を求めることについて (自動車事故による損害賠償の額の決定及び和解について)	3. 6. 11	原案承認
議案第44号	北塩原村公有民営方式路線バス車両購入契約について	〃	原案可決
議案第45号	除雪ドーザ購入契約について	〃	〃
議案第46号	北塩原村ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	3. 6. 16	〃
議案第47号	令和3年度北塩原村一般会計補正予算(第2号)	〃	〃
議案第48号	令和3年度北塩原村簡易水道事業費特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第49号	令和3年度北塩原村特定環境保全下水道事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
発議第1号	北塩原村議会会議規則の一部を改正する規則	〃	〃

第7回
臨時議会

令和3年6月28日、第7回臨時議会が開かれた。

議会では、専決処分を含む4件の議案が審議され、可決された。

議案第50号
専決処分の承認を求めることについて
(村道の瑕疵による損害賠償の額の決定及び和解について)

【問】小椋 元 議員
(側溝の) という理由で蓋が外れていたのか原因は調べたのか。

【答】建設課長
村道のカーブの部分の蓋で、鉄板状のものが何かの原因で外れ、裏返しになっていた状況です。

全会一致で可決

議案第51号
北塩原村国民健康保険
税条例の一部を改正する
条例

【問】佐藤 善博 議員

国保税の未納分はどうなっているのか。未納者が保険証を使う場合、短期証を交付すると思うが、その際ちゃんと未納分を徴収しているのか伺う。

【答】住民課長

令和2年度決算見込みとして265万2千円の未済で、滞納繰越分は2239万1千円の見込みです。短期証をお渡しする場合、面談で納付状況を確認しながらお渡ししています。納めに応じない方がいることについては課題と考えております。

【問】佐藤 善博 議員
未納分の回収方法はどうしているのか。

【答】税務課長

未納の回収については法律に基づき督促状の発布、催告書の送付を行い、なおかつ電話での納付の勧奨を行いつつ回収に努めております。納付に応じない者は滞納処分等を実施し対応しているところです。

【問】佐藤 善博 議員
(税率を) 上げるのに徴収の努力が出てこない

れば議員も納得できないのではないかと。過年度分とは言わないが現年度分100%徴収すべきではないのか。

【答】村 長

就任してから12月に特別徴収月間を実施し、今年度も1回実施、あと2回実施する計画です。税金の公平性が大切なので、徴収月間の反省を生かして100%を目指していきます。

全会一致で可決

議案第52号

令和3年度北塩原村一般
会計補正予算(第3号)

補正額 517万円

【問】若林 幸子 議員

業務委託料(ワーケーション関係)の詳細について伺う。

【答】商工観光課長

モニターツアー関連で220万円、プログラム造成関連で49万5千円、情報発信のウェブ構築関連で49万5千円です。

【問】伊関 明子 議員

見積もりは出ているのか。また、委託先はもう決定しているのか。

【答】商工観光課長

委託先はまだ決まっています。これまでの委託業務の実績を元に算出しております。

全会一致で可決

第7回臨時会 会議に付した議案と審議結果

議案番号	件 名	審議結果
議案第50号	専決処分の承認を求めることについて (村道の瑕疵による損害賠償の額の決定及び和解について)	原案承認
議案第51号	北塩原村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第52号	令和3年度北塩原村一般会計補正予算(第3号)	〃
議案第53号	令和3年度北塩原村国民健康保険事業費特別会計補正予算(第1号)	〃

【議会傍聴のすすめ】

北塩原村村議会の傍聴は「北塩原村議会傍聴規則」に基づき実施されています。今回はその内容の一部を分かりやすくご紹介し、より多くの方に傍聴いただけるようにご案内いたします。

なお、会議の日程につきましては議会ホームページでお知らせしております。

傍聴席のご案内

議場の傍聴席は全部で25席です。原則として先着順となっており、事前予約等はできませんが大人数で傍聴に来られる場合には、混雑状況を把握するために事前に議会事務局へご連絡頂ければ幸いです。

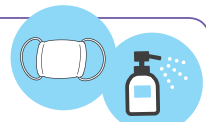
25名を超えた場合、また、新型コロナウイルス予防の観点から傍聴席を減らす措置が取られた場合には、役場本庁コミュニティセンターロビーにあるテレビ、または裏磐梯合同庁舎にあるテレビにて視聴が可能です。

議会傍聴注意事項

1. 議会を傍聴しようとする方は、名簿に記載願います
2. 傍聴席では、帽子、コート、マフラー等はお脱ぎ下さい
3. 傍聴者は、議場に入ることはできません
4. 傍聴席での飲食、喫煙、私語、拍手等は禁じられています
5. 議場での言論に対して、公然と可否を表明したり、談論やその他騒ぎ立てたりしないでください
6. 携帯電話は、電源を切るかマナーモードにするとともに、会議中は操作しないようにして下さい
7. 議会の撮影、録音等は許可を得た場合以外は行わないで下さい
8. 児童及び乳幼児は傍聴席に入れません
9. その他、議会の妨害等となる場合は、退場を命じます
10. 原則として、会議中の入退出を禁止します。
11. 傍聴人はすべて議長または、係員の指示に従ってください

コロナ
対策として

1. マスクは必ずご着用ください。
2. 入退室時はかならず手指の消毒を行ってください。





- 1 佐藤善博 議員 9
○村道の維持管理及び使用について
○観光事業関係について
- 2 伊藤敏英 議員 10
○「第五次総合振興計画」について
- 3 池田睦宏 議員 11
○裏磐梯サイトステーションと松原歴史館の指定管理契約及びそれらを含む村が管理する設置物などを介して行われる地域住民や旅行者への利便性について
○裏磐梯エリアへの住宅建設と村の人口減少対策について
- 4 若林幸子 議員 12
○村長の掲げている人口減少対策等のPRの仕方について
○村内の学校教育や幼児教育の環境の現状について
- 5 酒井利美 議員 13
○移住定住について
○新型コロナウイルス対策、支援について
- 6 小椋元 議員 14
○ラビスパ事業の現状について
○エミュー事業について
- 7 伊関明子 議員 15
○裏磐梯村営住宅の管理について
○中津川溪谷の整備について

ズバリ!!

村政を質す!!

一般質問とは？

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等についての所信や疑問を質すこと、報告や説明を求めることを言います。

佐藤 善博 議員



・村道の維持管理及び使用について

・観光事業関係について

村道の維持管理及び使用について

問 村道が袋小路になっている場所は、何路線あるのか、また、磐梯山登山道、五色沼につながる村道、秋元地区先の別荘地内の村道の維持管理は、それぞれどのように行っているのか伺う。

答（建設課長）

袋小路になっている村道は75路線あります。磐梯山登山口線は、碎石などを村から支給し、維持管理を裏磐梯高原ホテルで実施しています。五色沼線、秋元地区ロイヤルシティ裏磐梯リゾート内の村道は、村で維持管理を行っています。

問 磐梯山登山道について、私有地につき車両の

進入禁止の看板が立っているが、あそこに登山道があったはずではないか。土地の所有者の関係で、「入るなよ」というのは北塩原の観光事業としてマイナスではないのか。

答（村 長）

私も確認しました。登山の方々には第3駐車場への誘導がされており、案内看板が確認できました。ロープや、そのような掲示は、センターハウスでガラスが割られ建物内に入られたということから、以前から張っていましたというような報告を受けています。

問 五色沼につながる村道の関係。雪が消えたのに村の通行止めの看板があったと、また、売店が始まってその看板が無く

なったというが、あの看板は誰が管理しているのか。

答（建設課長）

商工観光課にお願いし、4月に入って看板の撤去を行いました。

問 秋元の保養地の道路

について、ある人が行ったら私有地なので入ってくるなど言われたという。あそこは村道ではないのか。何年か前はあの地区にクマが出没して、木に登っていたという経過もあるはずだ。生活の安全安心のためこれら三つを含め、村長はどういうふうに今後考えていくのか。

答（商工観光課長）

裏磐梯を観光資源として多くの村民の方々が生業としていますから、そ

ういった点においては、大変重要なことであると思います。今後、村道の管理についても、地域の方々とともに、事業者の方々と十分話し合いをし、観光客に優しい村づくりをしていきたいと考えております。

観光事業関係について

問 新型コロナウイルスの影響により中止になった事業の残った事業費について今後どういうふうに使おうと考えているのか伺う。

答（村 長）

今後は国や県の動向、また村内の社会経済情勢により、対策需要を検討しながら、財源としての活用も検討していきたいと考えております。

伊藤 敏英 議員



・「第五次総合振興計画」について

「第五次総合振興計画」について

問 総合振興計画が、既に5年目に入っているが、この計画の策定の経緯と進み具合はどうなのか伺う。

答（総務企画課長）

総合振興計画は村づくりの将来目標を示し、最上位に位置付ける計画として策定しました。進捗状況は、実施計画で74の事業を計上し、中止、見直した事業は3事業。令和3年度に完了、終了する事業が5事業。66事業が継続事業です。

答（総務企画課長）

市町村計画の策定と村の重点事業計画の二つの作業を通じ、点検、見直したい考えです。点検、見直しに際し、新型コロナウイルス感染症対策や大型の事業について計画に反映させることが課題です。

問 住民まで広げて取り組んでいる自治体もあり、私たちの村も村民重視を基本構想で掲げているが、従来と変えた点はあるか。

答（総務企画課長）

第5次では、自助・互助・共助・公助を打ち出し、全てに関わる方の役割ということをまず認識した上で、ともに村づくりに進んでいくということとを打ち出した点が大きな特徴だと思います。

問 素晴らしい構想を持った計画なのに、何でこんなに村民のみなさんが関心を持たないのか、この原因は何だと考えるか。

答（村 長）

原因は、残念ながら行政が村民との共有化に対する努力の不足だったのかなというふうに思います。

問 ここに「地域担当職員制度による担当職員が、各受け持ち地域に関心をもち、必要に応じた支援を行います」という一行があるが、どのような制度で具体的には何をするのか伺う。

答（総務企画課長）

地区ごとに担当職員を指名し運営してきましたが、なかなかうまく機能

させることが難しかったという経過がございます。

問 副村長にお尋ねするが、既に北塩原村総合振興計画には目を通し、我が村の財政状況についても既に把握されていると思うが、率直な感想を伺う。

答（副村長）

計画は非常に素晴らしいことだなと感じました。一方、村の財政状況ですが、厳しい状況にあると認識しております。現状は地方債が非常に膨らんでいるとか、自主財源が乏しいところがありますので、しっかりと現状を認識した上で、今後の事業を進めていきたいと考えております。

池田 睦宏 議員



- ・裏磐梯サイトステーションと桧原歴史館の指定管理契約及びそれらを含む村が管理する設置物などを介して行われる地域住民や旅行者への利便性について
- ・裏磐梯エリアへの住宅建設と村の人口減少対策について

裏磐梯サイトステーションと桧原歴史館の指定管理契約に基づいた適正な管理の実施及び設置物などを介して行われる地域住民や旅行者への利便性について

問 管理運営協定に記載してあるエコツーリズム協会の事務所の住所はこの住所か伺う。

答（商工観光課長）

協定書に書いてある住所はサイトステーションの住所と認識しております。

問 移転した新しい住所での契約がきちんと締結されているのか伺う。

答（商工観光課長）

住所の変更を確認する資料や登記がないのでそういった契約は実施しておりません。

問 新事務所での業務実

態の確認がなされていない、実体のない組織と契約を進めている状態は大きな問題だと思いが、いつまでに締結するのか伺う。

答（商工観光課長）

登記の状況にもよりますが7月末までに出来ればと思います。

問 4月1日に締結するものが7月末まで行われな

いの管理業務が実施されている指定管理の契約のあり方で良いか伺う。

答（村 長）

エコツーリズム協会の総会の開催日の把握と登記の必要とする日程を踏まえてスケジュールを立てていきたいと思えます。

問 桧原歴史館について、

来場者、年間の入館者の入場料金、ラーメン屋の売上はどうなっているのか伺う。

答（商工観光課長）

観覧料と食事処の売上で

すが、令和2年度は観覧料が14万8980円です。ラーメン屋の売上が2233万5900円です。

問 決まった時間にクロールをせずに、早仕舞いする。

建物としての営業時間中にも関わらず、入り口の後ろに大きな暖簾をかけて、閉館しているようなこの状況でいいのかどうか考えをうかがう。

答（村 長）

改善をしていただき、時間内まで桧原歴史館を利用いただくということにしていかなければならないというふうに思っています。

問 曾原狐鷹森の看板改定で地域からクレームがあったと聞いているが内容と対応を誰が行ったのか伺う。

答（商工観光課長）

まず区長が来庁されこれまでの経緯を調べ私が謝罪をしております。その後当

時の関係者のもとへ私と班長で行き経緯についてご説明し後日同じ方のところへ村長と私と班長で行きました。説明会を受け地区からは今後は地域と共有しながらいろいろやってほしいというところで、修正するようお話をいただきました。

裏磐梯エリアへの住宅建設と村の人口減少対策について

問 転入したい人たちがたくさんいる、ここにいたいのに村から出ていかなきゃいけない人がいる、こういう状況でなかなか裏磐梯の住宅が進まない、スケジュールも込みで裏磐梯での住宅建設、どう進めていくのか伺う。

答（総務企画課長）

基本計画を今年度業務委託し実行したいと考えています。この原案を承認いただければ、早ければ令和5年度に建設を開始するとい

若林 幸子 議員



- ・村長の掲げている人口減少対策等のPRの仕方について
- ・村内の学校教育や幼児教育の環境の現状について

村長の掲げている人口減少対策等のPRの仕方について

問 裏磐梯に建設予定の住宅のPR方法と、村で使用しているようなキャッチフレーズが観光用にも必要ではないか考えを伺う。

答（総務企画課長）

計画の住宅については、対象者や住宅の供給方法を踏まえて、効果的な方法を検討してまいります。

問 PRを印象付けるために、診療所のような似顔絵やキャッチフレーズを使用するのも効果的だと思いが考えを伺う。



答（村 長）

イラストを多用し、分かりやすく、ホットなキャッチコピーも考えながら多くの方の琴線（きんせん）に触れるようなものを作っていく、と考えています。

問 裏磐梯の住宅は10、15戸、2ヶ所まで考えいるとのことであるが、場所は決まっているのか。

答（総務企画課長）

生活の利便性も考慮した場合、剣ヶ峯地区もしくは、蛇平地区辺りを考えております。

問 PR方法について、決まりきった形ではなく、職員や村民からアイデアを募集したりするなどの

考えはあるか。

答（村 長）

そういった部分についても、村民の方々の村政に参加するということも含めて検討してまいりたいと思います。

村内の学校教育や幼児教育の環境の現状について

問 2年ぶりに実施された全国学力テストの結果・内容及び、保護者に連絡するのか、総合的な学習として子ども議会開催の考えを伺う。

答（教育課長）

学力テストについては、結果発表されましたら、各学校で結果を分析し保護者へ説明を行って参ります。子ども議会については、各学校へ伝えており、昨年はコロナ禍で中止となった学校があります。

すが、今年度、実施に向け準備している学校もあります。

問 幼稚園の保護者の送迎に關しての決まりが守られているのか伺う。

答（教育課長）

新入園児保護者説明会や保護者会などにおいて、送迎に關することについてご説明を行っており、おおむね守っていただいております。

問 午後6時より遅れる人はいつも一緒に、先生たちも、保護者同士も注意しづらいとのこと、きちんと守っていただけるように、村から働きかけるべきである。

答（教育課長）

幼稚園と協議させていただき、対応できるところは対応させていただきたいと思ひます。

酒井 利美 議員



・移住定住について

・新型コロナウイルス対策、支援について

移住定住について

問 移住定住について、テレワークで利用したいとか、空き家を活用してルームシェア×民泊としての活用について事例がある。裏磐梯地区に住宅建設と並行し、村有地の有効活用も考える必要がある。村の考えを伺う。

答（総務企画課長）

空き家の活用、村有地活用、インフラの整備、森林資源の活用等、村の資源を活用し、村の強みを活かせる方策を検討してまいりたいと思います。

問 村には文化芸術活動の場を営む施設がないが、学校林等の森林資源を活用するなどすれば、教育環境や文化施設を充実したことになると思うが村の考えを伺う。

答（村 長）

文化施設がないというのは、私も以前から感じております。文化施設を建設した場合、1年間充分活用できるだけのものがつくれるかどうか改めて考える必要があると思います。

問 住宅について、令和5年度でつくるような話があったが、それでは遅いのではないかと。もっと早めることが村長の仕事ではないか。用地の決定も政治的な判断があるんじゃないかなと思うが用地の視察は行ったのか伺う。

裏磐梯地区に行く中でその地域を見てはきていますので、だいたい地形は分かっているものがあります。

答（村 長）

裏磐梯地区に行く中でその地域を見てはきていますので、だいたい地形は分かっているものがあります。

新型コロナウイルス対策、支援について

問 村の施設整備で、昨年11月に補正予算をとったコロナ対策事業の進行状況について伺う。

答（総務企画課長）

Wi-Fiステーション環境整備と本庁舎の衛生設備改修が年度内に完了したことはお詫びを申し上げたいと思います。トイレの衛生設備の改修は6月の末、Wi-Fi工事は7月15日までに完了する見込みです。

問 ワクチン接種について、喜多方市議会を傍聴した際、電話がつながらない問題が討論されており、最初5回線あったものが電話を7回線にするにあつたが、村でも影響を受けているのか。

答（住民課長）

当初、国からは来年2月末までの接種というところとおおむね示されていた中で、7月末までというところが出てきましたので、村として集団接種の機会を増やしたところがあります。

問 コロナが沈静後、人流が戻った場合、案内看板等の整備も必要となり、また、五色沼周辺は重要な拠点となると思うが村の考えを伺う。

答（村 長）

裏磐梯ビジターセンターと五色沼入口観光プラザを連動することにより、観光地裏磐梯の新たな観光拠点として機能させたいと考えており、ウィズコロナ、アフターコロナの準備を進めなければならぬと思っています。

小 椋 元 議員



- ・ ラビスパ事業の現状について
- ・ エミュー事業について

ラビスパ事業の現状について

問 昨年よりコロナ禍のため、世界中大変な状況が続いている。ラビスパ事業、昨年、今年、今年をまず伺う。

答（総務企画課長）

令和3年度の入館者数は4月は1583人、5月は2017人で、令和2年度との対比では、4月は911人、5月は1605人の増です。令和元年度との対比では、4月は1885人、5月は2995人の減となっています。赤字が見込まれておりますが、経費の削減により圧縮に努力している状況でございます。

問 ラビスパアンケートの結果を今後どのように村政に活かしていく考えなのか伺う。

答（村 長）

アンケートの調査結果については、547名の方々に回答をいただきました。今後の施設改修のあり方につきまして改修計画の調査を実施し、さらには懇談会を開催し方向性を決定していきます。

問 今までで黒字になったのは2年だけで、そういうことをちゃんと村民の中に伝えた上でアンケートを取らなければ誰だつて、あつたほうがいいと言つ、経費を考えれば役に立たない施設ではないのか。

答（村 長）

現在、約5万人の利用があるということは、施設としては十分役に立っているものと私は思います。

問 いこいの森、ふれあい広場、物産館、林産販売施設、農産物直売施設、これらの事業を株式会社ラビスパが請け負う必要は何なのか。また、これらの事業、黒字化する自信はあるのか伺う。

答（総務企画課長）

委託に際しては公募手続きを行い、議会の議決を頂き実施しているものであります。黒字化につきましては、人の流れが回復しましたら、さらなる営業努力を重ねることで黒字化できるものと考えております。



エミュー事業について

問 エミューの活用方法、手段についての調査はどうなったか伺う。

答（農林課長）

卵のお菓子等の加工は好評を得ておりますが、肉、オイルの活用については経営可能な規模、加工施設がない状況であります。研究の成果について早い段階でまとめ検討した上で、結論を出したいと考えております。

問 農大との関係はどうなっているのか伺う。

答（農林課長）

これまで各種事業について様々な情報提供をいただながら、モニターツアーや学生受入等の事業を行ってきたところでございます。

伊関 明子 議員



・裏磐梯村営住宅の管理について

・中津川溪谷の整備について

裏磐梯村営住宅の管理について

問 裏磐梯村営住宅の管理について駐車場が用意されていない。そして住民で除雪もしてきたが、高齢化もあり業者へ除雪依頼をしようとしたが断られている状況であるが、村の考えを伺う。

答（建設課長）

裏磐梯の村営住宅は建設当初より、駐車場は整備されてなく、入居されている方もその点は認識されていると思われる。また、除雪については、住民の共有部分でもありますので、引き続き入居者同士で助け合いながら除雪のほうをお願いしたいと考えています。

問 建設当初よりなかった理由と、契約時の説明はきちんと行っていたのか伺う。

答（建設課長）

公営住宅は本来に収入がなく困っている方を対象としているため、当初は、車は所有していない想定だったかと思います。駐車場については質問があれば、無いことを伝えております。

問 スカイヒルは、同じように駐車場はつくらなかったのか伺う。

答（建設課長）

スカイヒル住宅につきましては、駐車場のほうも整備をしております。

問 こういう豪雪地帯における除雪の問題について何か委員会などの立ち上げを検討してはどうか考えを伺う。

答（住民課長）

村としては二つの方策を今考えており、社会福祉協議会の除雪サ-

ビスで玄関周りの導線を確保しています。もう一つはこれも社会福祉協議会で生活支援体制整備事業ということで、地域の力でできないか、対策を考えていかなければならないと思います。

中津川溪谷の整備について

問 中津川溪谷への道路整備について、3月議会での約束どおり現地調査を行ったと聞いているが、通行止めになった原因と経緯について、また、復旧まで何年程度で目処が付きそうか考えを伺う。

答（建設課長）

村道中津川線は落石や倒木の危険があることから、通行止めをしております。危険箇所が広範囲で安全が確保できないため再開の見通しが立っていません。今後の対応について調査、研究をしていきたいと考えています。

問 中津川に関して具体的なアクションを起こしたか。今後はどの様に考えているか伺う。

答（村 長）

伊関議員の質問をいただいて現地を確認し、その状況の報告をさせていただきました。それらをもとに今後、サイクリングロードとしての位置付けとして、観光拠点化したほうがいいのかどうか方針を決めなくてはならないと考えております。



今月の表紙

「幼稚園の田植え」

5月20日、下吉地区の小枝俊邦さんの田んぼで、さくら幼稚園と裏磐梯幼稚園園児による田植えが行われました。園児たちが一生懸命植えた苗はきつと秋には立派な穂をつけてくれることでしょう。



議会傍聴にお越しく下さい！

次回定例会は 9月10日 開会予定です。

議会は皆さんの生活に寄り添い、皆さんの声を村へ反映する議決機関です。村のこれからが見える議会傍聴にぜひ足をお運びください。

議会傍聴、議会だよりのお問い合わせは議会事務局まで。

TEL：(23) 3263

FAX：(25) 7358

HPアドレス：<https://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>

編集委員

委員長	伊藤 敏英
委員長	若林 幸子
委員	遠藤 祐一
委員	池田 睦宏
委員	小椋 真

編集後記

梅雨の季節に入り、落ち着かない天気が続いておりますが、村内でもワクチン接種が進み少しずつ明るい兆しが見えてきたと感じています。

議会広報では、住民の皆様へしっかりと情報をお届けできるよう編集していきたいと思っておりますので、ご意見などございましたら是非お聞かせください。また、「みんなの声」も投稿お待ちしております。

委員一同